

旅行取扱状況の概観 (平成 19 年 7 分)

海外旅行の取扱額では、団体旅行は、学生団体旅行が好調に推移し前年実績を大きくオーバーしたが、一般団体が取り扱い低調に前年好調の反動も加わって前年実績を大幅に下回ったため、合計では前年実績を大きく下回る結果に終わった。企画旅行は、ホリデいの取り扱い低調により前年実績に届かず、4ヶ月連続の前年比マイナス。個人旅行は、国際航空券、海外クーポン等の取り扱いが低調で、前年実績に達しなかった。海外旅行合計は、団体旅行の不振、企画旅行、個人旅行も低調で、前年比 91.8%と前年実績を下回り3ヶ月連続の前年比マイナスとなった。

国内旅行の取扱額では、団体旅行は、学生団体が取り扱い低調で前年実績を下回ったが、一般団体が好調に推移し大幅に前年実績を上回ったため、合計は3ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。企画旅行は、メイトが堅調な取り扱いで前年実績を超え、前月に続いての前年比プラス。個人旅行では、JR券、航空券、宿泊券の取り扱いが伸び悩み、合計は前年実績に達しなかった。国内旅行合計は、個人旅行は低調であったが、団体旅行、企画旅行の堅調により、前年比 101.4%と2ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

外国人旅行は、団体、個人共に堅調な取り扱いで、前年比 104.5%と2ヶ月ぶりの前年比プラスと回復した。

7月の総取扱額は、国内旅行、外国人旅行は前年実績を上回ったが、海外旅行の不振が響き、前年比 97.8%と前年実績に届かず3ヶ月連続の前年比マイナスとなった。

1. 海外旅行

(1) 団体旅行

一般団体は前月と傾向は変わらず、取り扱い件数の減少に前年取り扱い好調の反動が加わり大きく前年実績を割り込んだ。学生団体は、修学旅行、修学旅行外の取り扱いが共に好調で前月に続いて大きく前年実績を超え好調に推移した。団体の方面別取り扱いでは、韓国、香港、グアム、ハワイの取り扱いが好調であった。

(2) 企画旅行

ホリデイは、取り扱いの鈍化が続き、取扱額前年比 92.4%、取扱人数前年比 89.5%と共に前年実績を下回り、取扱額は4ヶ月連続の前年比マイナスと低迷が続いている。ホリデイの方面別取り扱いでは、前月と同傾向で、近場の韓国、台湾、およびインドネシアが好調であったがロングポジションが不振であった。

2. 国内旅行

(1) 団体旅行

一般団体は、今月もイベント関係の取り扱い好調により、3ヶ月連続の前年比プラスと堅調に推移した。学生団体は、修学旅行、修学旅行外の取り扱いが低調で、前月に続いて前年実績に達しなかった。

(2) 企画旅行

メイトは、取扱額で前年比 103.5%、取扱人数で前年比 100.1%の取り扱いで、前月に続いての前年比プラスと堅調に推移した。商品別の状況では、沖縄が好調で北海道も前年を上回ったが、東京地区・関西地区商品は前年並みの取り扱いであった。

(以上)